

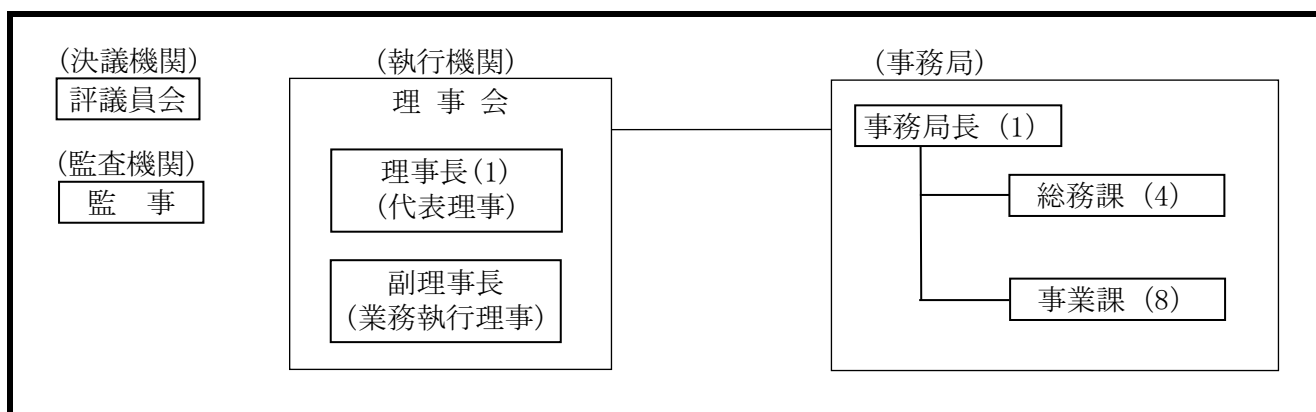
令和5年度 足立区勤労福祉サービスセンター 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和6年3月31日現在

名 称	公益財団法人 足立区勤労福祉サービスセンター
所 在 地	足立区千住一丁目5番7号 あだち産業センター2階
設立年月日 公益認定	平成2年4月2日 平成21年4月1日 公益財団法人
代 表 者	理事長 石鍋 敏夫
職員数（実員）	常勤7名（派遣7名） 再任用6名 非常勤（兼職）1名 合計14名
基本財産	5億円

2 組織機構図



3 令和5年度経営方針と重点事項

【経営方針】

- 1 会員に魅力ある事業の実施と満足度の向上
- 2 会員の加入拡大
- 3 事業の見直しによる健全な財政運営の継続

【主な公益目的事業内容】

- 1 生活安定事業
 - (1)カード・回数券
 - (2)産地直送
 - (3)指定店
 - (4)生活資金融資斡旋
- 2 健康管理・健康増進事業
 - (1)健康診断（委託）補助
 - (2)人間ドック補助
 - (3)スポーツ施設等チケット
- 3 自己啓発事業
 - (1)講座・教室利用補助
 - (2)美術展チケット
 - (3)歌舞伎等鑑賞教室
 - (4)図書カード
- 4 余暇活動事業
 - (1)遊園施設チケット
 - (2)宿泊施設等利用補助
 - (3)観劇コンサート等各種チケット販売
- 5 生活産業広報誌発行事業
 - 「公社ニュース トキメキ」発行

【その他の事業内容】

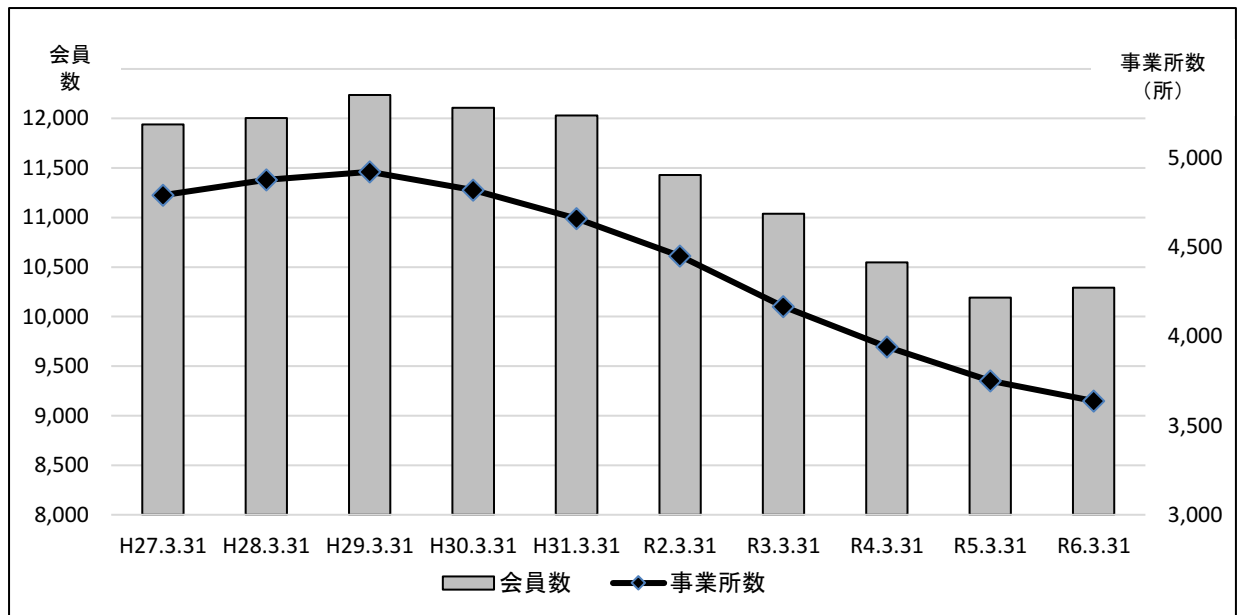
- 1 給付事業
 - 祝金・弔慰金等の給付

4 事業所数及び会員数の状況

4 事業所数及び会員数の状況

(1) 事業所数及び会員数

年月日	(単位：所)		(単位：人)			
	事業所数	増減数	会員数	入会数	退会数	増減数
H27.3.31	4,793	85	11,941	2,020	1,585	435
H28.3.31	4,878	85	12,003	1,304	1,242	62
H29.3.31	4,923	45	12,236	1,490	1,257	233
H30.3.31	4,820	△ 103	12,107	1,139	1,268	△ 129
H31.3.31	4,661	△ 159	12,029	1,187	1,265	△ 78
R2.3.31	4,452	△ 209	11,429	1,135	1,735	△ 600
R3.3.31	4,167	△ 285	11,040	811	1,200	△ 389
R4.3.31	3,942	△ 225	10,547	878	1,371	△ 493
R5.3.31	3,751	△ 191	10,192	901	1,256	△ 355
R6.3.31	3,638	△ 113	10,291	1,272	1,173	99



(2) 退会者の主な退会理由

(単位：人)

退会理由	令和4年度		令和5年度	
	人数	構成比	人数	構成比
退職	772	61.5%	784	66.8%
死亡	36	2.9%	17	1.4%
廃業・倒産	48	3.8%	84	7.2%
区外移転	42	3.3%	35	3.0%
年齢75歳以上	40	3.2%	28	2.4%
経費削減のため	42	3.3%	21	1.8%
他のサービスに加入	4	0.3%	0	0.0%
会費が高い	2	0.2%	1	0.1%
魅力がない	5	0.4%	4	0.3%
利用しない	175	13.9%	144	12.3%
その他	90	7.2%	55	4.7%
合計	1,256	100.0%	1,173	100.0%

(3) 令和5年度 会員数拡大に向けた取り組み状況

- ア 新規事業所での入会者を入会金無料・キャンペーン期間中の会費無料とする新規事業所入会キャンペーンを2回（7～9月・1～3月）実施した。
- イ キャンペーンに合わせて、ホームページ・SNS・公社ニューストキメキ等での情報発信や、駅構内ラック・区内事業所等でのチラシ配布、区内事業所団体等への訪問勧誘活動を実施した。
- ウ 日帰りバスツアーの再開、木下大サーカス、ルミネtheよしもと鑑賞チケットやコマダ珈琲店プリペイドカード等の新規事業の実施など、福利厚生事業の充実を図った。
- エ 上記ア～ウの取り組みの結果、令和5年度末の会員数は入会者総数が退会者総数を上回り、平成29年度以来7年ぶりに増加に転じ、前年度比99人の増加となった。

5 決算剰余金について

(1) 公益目的事業会計における剰余金の状況

ア 令和5年度決算における剰余金及び内訳

項目	内容	金額
福利厚生事業の収支	積極的な事業実施に努めた結果、経費が収益を上回った。	△4,256,540円
「トキメキ」発行事業の収支	広告収益が好調のため、収益が経費を上回った。	5,958,894円
給付金事業会計からの振替額	給付金事業収益が経費を上回ったことに伴う法定振替額	1,298,332円
合 計		3,000,686円

※（参考）剰余金の求め方

公益目的事業会計の当期一般正味財産増減額4,406,086円から、経常外収益1,405,400円を引いて求めます。

イ 剰余金の累計額

会計年度	剰余金額	主な理由
令和2年度	3,473,901円	コロナ禍により実施事業が減少したため
令和3年度	4,553,329円	コロナ禍により実施事業が減少したため
令和4年度	3,252,161円	生活産業広報紙発行事業の広告収益が増加したため
令和5年度	3,000,686円	生活産業広報紙発行事業の広告収益が増加したため
合計	14,280,077円	

(2) 剰余金の解消計画

令和6年度から令和8年度までの3年間の公益目的事業において、下記の取り組みにより、各年度に赤字決算を計上することで、剰余金を解消する。

ア 会計マネジメントの強化

公益目的事業会計の決算額は様々な要因で増減するため、四半期ごとに決算見込み額を算出し、剰余金が適切に解消される決算額となるよう、特別還元事業を適宜調整して実施していく。

イ 会員数拡大の取り組みの強化

福利厚生サービスの利用者数を増やすことで事業の予算消化を加速させ、剰余金解消の一助とする。このため、入会キャンペーンの実施、ホームページ・SNS・公社ニューストキメキ等での情報発信、駅構内ラックや区内事業所等でのチラシ配布、職員による区内事業所団体等への訪問勧誘活動を引き続き強化する。

5 決算剰余金について

ウ 特別還元事業の実施

特別還元事業を実施し、剰余金の解消を図る。またこれにより会員満足度の向上による既存会員の退会防止と、新規会員の拡大につなげる。

なお、事業実施に当たっては、人気の品目や演目を取り入れ、会員ニーズや売れ行きに応じて販売額や販売数を変更して実施する。

令和6年度 特別還元事業（予定）

No.	項目	収益	費用	収益－費用	内容
1	各種ギフト券	4,000,000円	5,000,000円	△1,000,000円	前年度好評のコメダ珈琲店プリペイドカード等に加え、新規にびゅう商品券、クラフトビール券等、各種ギフト券を特別価格で販売
2	各種イベントチケット	4,000,000円	5,000,000円	△1,000,000円	キッザニアギフトパス、サンシャインシティ水族館等入場券、すみだ水族館等、各種イベントチケットを特別価格で販売
3	「足立の花火」有料席	900,000円	1,100,000円	△200,000円	令和6年度、200席（前年度比120席増）を特別価格で販売
4	ディズニー・バンケットランチプラン	1,008,000円	1,570,000円	△562,000円	東京ディズニーリゾート内ホテルでのランチ会で好評な事業。登場キャラクター数の増、参加記念グッズのプレゼント等、内容を拡充して実施
5	インフルエンザ予防接種費用補助	0円	2,000,000円	△2,000,000円	予防接種1回につき1,000円、1会員2人分（会員又は家族）まで補助
6	ルミネtheよしもと貸切公演	300,000円	2,500,000円	△2,200,000円	令和5年度より入場券を販売し好評のため、会員限定貸切公演を実施
合計		10,208,000円	17,170,000円	△6,962,000円	

(3) 剰余金の解消予定

年度	目標決算額	剰余金解消額	剰余金残額
令和5年度末	—	—	14,280,077円
令和6年度末	△6,962,000円	△6,962,000円	7,318,077円
令和7年度末	△4,000,000円	△4,000,000円	3,318,077円
令和8年度末	△4,000,000円	△3,318,077円	0円

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 生活安定事業

決算額 (単位:円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由(B-A)
		44,712,444	31,148,122	△ 13,564,322
主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	クオカードの販売 (R4@4,950×仕入数2,000枚、送料1,540円) (R5@4,950×仕入数1,000枚、送料1,540円)	1,544 枚	1,594 枚	50 枚
	決算額 (単位:円)	9,901,540	4,951,540	△ 4,950,000
	【内容】 「クオカード(コンビニ等の加盟店で利用できるプリペイドカード)」を会員価格で販売。 【増減理由】 利用実績は令和4年度と同程度となった。なお、前年度からの繰越枚数があったため、新規購入数を減らした結果、決算額は減少した。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 クオカード 847枚 1,000枚 1,594枚 253枚			
イ	区内共通商品券の販売 (R4@5,000×仕入数2,300セット) (R5@5,000×仕入数1,800セット)	2,201 セット	1,731 セット	△ 470 セット
	決算額 (単位:円)	11,500,000	9,000,000	△ 2,500,000
	【内容】 「足立区内共通商品券(足立区内の加盟店で利用できる商品券)」を会員価格で販売。 【増減理由】 特別販売価格から通常会員価格に戻したことにより減少した。なお、前年度からの繰越枚数があったため、新規購入数を減らした結果、決算額は減少した。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 区内共通商品券 191セット 1,800セット 1,731セット 260セット			
ウ	コミュニティバス回数券の販売 (R4@1,940×仕入数350冊) (R5@1,940×仕入数450冊)	405 冊	440 冊	35 冊
	決算額 (単位:円)	679,000	873,000	194,000
	【内容】 コミュニティバス「はるかぜ」回数券(新日本観光自動車)を会員価格で販売。 【増減理由】 コロナが5類に移行後、在宅から外出勤務になり、コミュニティバスの利用が増加したことによるものと考えられる。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 コミュニティバス回数券 78冊 450冊 440冊 88冊			
エ	ユニクロギフトカードの販売 (R4@5,000×仕入数1,970枚) (R5@5,000×仕入数500枚)	1,970 枚	500 枚	△ 1,470 枚
	決算額 (単位:円)	9,850,000	2,500,000	△ 7,350,000
	【内容】 ユニクロギフトカード(全国のユニクロ店舗で利用できるプリペイドカード)を会員価格で販売。 【増減理由】 ギフトカードの販売品目を増やすため、期間限定によるユニクロギフトカードの販売枚数を減らしたため。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 ユニクロギフトカード 0枚 500枚 500枚 0枚			
オ	サーティワンアイスギフト券の販売 (R4@950×仕入数1,500セット) (R5@950×仕入数1,000セット)	574 セット	1,218 セット	644 セット
	決算額 (単位:円)	1,425,000	950,000	△ 475,000
	【内容】 サーティワンアイスギフト券(特定店舗で利用できるプリペイドカード)を会員価格で販売。 【増減理由】 令和4年度は12月から販売開始したが、令和5年度は通年販売とした結果、販売数が増加した。なお、前年度からの繰越枚数があったため、新規購入数を減らした結果、決算額は減少した。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 サーティワンアイスギフト券 926セット 1,000セット 1,218セット 708セット			

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和4年度実績(C)	令和5年度実績(D)	増減理由(D-C)
カ	選べるフルーツギフトカードの販売 (R5@5,500×仕入数50枚、送料770円)	未実施	50 枚	50 枚
	決算額 (単位:円)	0	275,770	275,770
【内容】 選べるフルーツギフトカード (WEBカタログの中からフルーツを購入できるプリペイドカード) を会員価格で販売 【増減理由】 新規取扱いで50枚販売し、完売した。				
キ	コメダ珈琲店「KOMECA (コメカ)」の販売 (R5@2,925×仕入数600枚)	未実施	600 枚	600 枚
	決算額 (単位:円)	0	1,755,000	1,755,000
【内容】 コメダ珈琲店 KOMECA (コメカ) (コメダ珈琲店で利用できるプリペイドカード) を会員価格で販売。 【増減理由】 新規取扱いで200枚募集したところ多数応募があったため、販売数を600枚に増やし完売した。				
ク	クオカードP a yの販売 (R5@10,000×仕入数273コード)	未実施	273 コード	273 コード
	決算額 (単位:円)	0	2,730,000	2,730,000
【内容】 クオカードP a y (加盟店舗で利用できる電子マネー) を会員価格で販売。 【増減理由】 新規取扱いで100コード募集したところ、利用可能店舗がクオカードより多く、多数応募があったため、273コードに増やして販売した。				
ケ	産地直送・味の宅配便のあっせん	2,377 口	1,700 口	△ 677 口
	決算額 (単位:円)	11,323,260	8,091,130	△ 3,232,130
【内容】 新茶、メロン、梨などの四季折々の果物などを産地から直送する。 【増減理由】 天候不順によりさくらんぼの取扱いを中止したこともあり、全体の販売数が減少した。 なお、令和6年度は契約農家を変更してさくらんぼの取扱いを再開する。				
コ	生活資金融資あっせん	2 件	0 件	△ 2 件
	決算額 (単位:円)	33,644	21,682	△ 11,962
【内容】 会員が指定金融機関で生活資金 (教育・住宅資金等) として融資を受ける際の信用保証料をセンターが負担する。 (信用保証料は融資残高に応じて支払うため、令和5年度は新規融資が0件でも支出がある) 【増減理由】 令和6年度は融資希望が1件あったが、融資実績は0件であった。				
サ	指定店	76 店	78 店	2 店
	決算額 (単位:円)	0	0	0
【内容】 指定店契約を締結した事業所において、会員証提示により割引価格でサービスを利用できる。 【増減理由】 新規指定7店、指定廃止5店の結果、2店増となった。				

(2) 健康維持増進事業

決算額（単位：円）		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由(B-A)
		21,831,110	22,255,932	424,822
主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	健康診断利用補助 (R4 会員@5,000×2,006人、家族@3,000×61人) (R5 会員@5,000×1,787人、家族@3,000×48人)	2,067 人	1,835 人	△ 232 人
	決算額（単位：円）	10,213,000	9,079,000	△ 1,134,000
	【内容】 契約病院での健康診断受診時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で受診できる。契約病院には後日センターから受診実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 健康診断受診希望者の減。			
イ	人間ドック利用補助 (R4 会員@5,000×40人、家族@3,000×12人) (R5 会員@5,000×28人、家族@3,000×12人)	52 人	40 人	△ 12 人
	決算額（単位：円）	236,000	176,000	△ 60,000
	【内容】 契約病院での人間ドック受診時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で受診できる。契約病院には後日センターから受診実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 人間ドック受診希望者の減。			
ウ	「おうちでドック」利用補助 (R4 会員@5,000×1人、家族@3,000×0人) (R5 会員@5,000×0人、家族@3,000×0人)	1 人	0 人	△ 1 人
	決算額（単位：円）	5,000	0	△ 5,000
	【内容】 自宅で血液採取して健康診断を受ける「おうちでドック」利用者に補助金を支給する。 【増減理由】 令和5年度利用者ゼロ。コロナ5類移行後、自宅での健康診断受診の必要性が低下し利用者数が減少したと考えられる。なお、本事業は令和5年度末をもって終了した。			
エ	日曜集団健康診断 (R5 基本健診 @7,986×65人 基本健診・胃検診 @15,686×13人 基本健診・ペプシソーゲン @11,726×24人)	未実施 人	102 人	102 人
	決算額（単位：円）	0	1,004,432	1,004,432
	【内容】 平日に健康診断を受診する機会がない会員のため集団健康診断を実施（R5.7.9（日））。会員は補助金を差し引いた価格で受診できる。 【増減理由】 令和4年度は、会場の勤労福祉会館が改修工事のため未実施。令和5年度は実施した。			
オ	健康ランド利用補助 (R4@300×8,012枚) (R5@300×8,489枚)	8,012 枚	8,489 枚	477 枚
	決算額（単位：円）	2,403,600	2,546,700	143,100
	【内容】 契約施設利用時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で利用できる。契約施設には後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 コロナ5類移行後、会員のレジャー活動の増加に伴い利用が伸びたと考えられる。			
カ	スポーツクラブ利用券の販売 (R4 6施設【年度途中1施設閉館】) (R5 6施設【新規1施設】)	1,428 枚	1,588 枚	160 枚
	決算額（単位：円）	1,942,600	2,046,000	103,400
	【内容】 法人契約を締結したスポーツクラブで利用できる会員価格の利用券を販売。 【増減理由】 コロナ5類移行後、会員の健康維持活動の増加に伴い利用が伸びたと考えられる。			

(4) 自己啓発事業

決算額 (単位:円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由(B-A)
		7,742,440	9,563,440	1,821,000
主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	文化教養講座、資格取得等利用補助 (R4文化教養@3,000×17人、資格試験@3,000円×97人、 放送大学@6,750×2人、@7,000×1人) (R5文化教養@3,000×23人、資格試験@3,000円×63人、 放送大学@18,000×2人、@6,750×1人)	117 人	89 人	△ 28 人
	決算額 (単位:円)	362,500	300,750	△ 61,750
【内容】文化教養講座、資格取得、放送大学、NHK学園生涯学習通信講座等の受講料・利用料に補助金を支払う。 【増減理由】文化教養講座等の利用数が減少したため。				
イ	美術展・展覧会チケットの販売	857 枚	1,757 枚	900 枚
	決算額 (単位:円)	1,245,140	3,042,090	1,796,950
【内容】都内美術館等で利用できる「ぐるっとパス」及び各種展覧会チケットを会員価格で販売。 【増減理由】コロナ5類移行後、美術展・展覧会の開催数が増加し、足を運ぶ会員が増加したことによるものと考えられる。				
ウ	歌舞伎等鑑賞教室 (R4 歌舞伎@3,800×22枚、能楽@3,000×3枚、 文楽@3,800×4枚) (R5 歌舞伎@3,800×27枚、能楽@3,000×4枚、 文楽@3,800×26枚)	29 枚	57 枚	28 枚
	決算額 (単位:円)	107,800	213,400	105,600
【内容】歌舞伎・文楽・能楽鑑賞教室チケットを会員価格で販売。 【増減理由】コロナ5類移行後、鑑賞教室開催数が増加し、足を運ぶ会員が増加したことによるものと考えられる。				
エ	図書カードの販売 (R4@2,931×仕入数2,000枚) (R5@2,931×仕入数2,000枚)	1,800 枚	1,812 枚	12 枚
	決算額 (単位:円)	5,862,000	5,862,000	0
【内容】「図書カードネクスト(取扱書籍販売店で利用できるプリペイドカード)」を会員価格で販売。 【増減理由】前年度と同数程度の売上げ実績となった。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 図書カード 640枚 2,000枚 1,812枚 828枚				
オ	新入・若手社員研修の実施 (R4 研修実施費用 105,600円、テキスト代 59,400円) (R5 研修実施費用 115,500円、テキスト代 29,700円)	27 人	12 人	△ 15 人
	決算額 (単位:円)	165,000	145,200	△ 19,800
【内容】新入・若手社員向け研修会の実施(R5.5.24(水)実施)。 【増減理由】人手不足等中小企業を取り巻く状況が厳しい中、新入・若手社員数が減少していることが要因と考えられる。				

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

(5) 余暇活動事業

決算額 (単位:円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由(B-A)
		64,048,850	65,085,690	1,036,840
主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	東京ドームシティ「得10チケット」の販売 (R4 年会費 264,000円、チケット@2,700×仕入数953冊) (R5 年会費 264,000円、チケット@2,900×仕入数762冊)	953 冊	762 冊	△ 191 冊
	決算額 (単位:円)	2,837,100	2,473,800	△ 363,300
	【内容】東京ドームシティ各施設で利用できるチケットを会員価格で販売。 【増減理由】コロナが5類に移行し、余暇活動が多様化したことにより、利用が減少したものと推察する。			
イ	東武動物公園入園券の販売 (R4 @2,400×仕入数200枚、@1,900×仕入数3,900枚 送料0円) (R5 @2,100×仕入数4,000枚、送料1,040円)	4,100 枚	3,402 枚	△ 698 枚
	決算額 (単位:円)	7,890,000	8,401,040	511,040
	【内容】東武動物公園入園チケットを会員価格で販売。 【増減理由】リピーターの減少によるものと推察する。			
ウ	西武園ゆうえんちチケットの販売 (R4 1口@440,000×2口(チケット200枚)) (R5 1口@440,000×4口(チケット400枚))	200 枚	400 枚	200 枚
	決算額 (単位:円)	880,000	1,760,000	880,000
	【内容】西武園ゆうえんち「一日レジャー切符」を会員価格で販売。 【増減理由】令和4年度200枚販売。5年度400枚販売で、いずれも完売。			
エ	スパリゾートハワイアンズ入場券の販売 (R4 1口@825,000×2口(入場券2,920枚)) (R5 1口@825,000×2口(入場券2,920枚))	1,897 枚	1,998 枚	101 枚
	決算額 (単位:円)	1,650,000	1,650,000	0
	【内容】スパリゾートハワイアンズ入場券を会員価格で販売。 【増減理由】他リゾート施設より販売価格が安価(900円)のため人気が高く、販売数が増加したものと考えられる。なお、販売枚数は法人契約の範囲内のため、決算額は増加していない。			
オ	指定レジャー施設利用補助	2,750 枚	2,417 枚	△ 333 枚
	決算額 (単位:円)	856,900	730,500	△ 126,400
	【内容】17カ所の契約レジャー施設利用時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で利用できる。契約レジャー施設には後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】コロナが5類に移行し余暇活動が多様化したことにより利用が減少したものと推察する。			
カ	東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券 (R4@1,000×2,539枚) (R5@1,000×2,892枚)	2,539 枚	2,892 枚	353 枚
	決算額 (単位:円)	2,539,000	2,892,000	353,000
	【内容】東京ディズニーリゾートのチケット購入時に補助金を差し引いた価格でチケットを購入できる利用券を会員に交付。後日、利用者分の補助金を東京ディズニーリゾートに支払う。 【増減理由】コロナが5類に移行し、東京ディズニーリゾート利用者が増加したものと推察する。			

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
キ	食事チケット	1,568 枚	842 枚	△ 726 枚
	決算額(単位:円)	1,095,200	580,900	△ 514,300
	【内容】 契約したホテル等レストラン(12カ所)において、食事チケットを提示し補助金を差し引いた価格で食事を楽しめる。契約レストランには後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 コロナが5類に移行し、ホテル以外の飲食店でも食事する選択肢が増え利用が減少したものと推察する。			
ク	宿泊施設利用補助 (R4@2,000×2,739泊) (R5@2,000×2,655泊)	2,739 泊	2,655 泊	△ 84 泊
	決算額(単位:円)	5,478,000	5,310,000	△ 168,000
	【内容】 国内外での宿泊費(1泊2,000円以上)を対象に、1泊2,000円(年間2泊まで)の補助金を支給する。 【増減理由】 前年度と同程度だが若干利用が減少した。			
ケ	会員制リゾート施設利用 (施設管理委託料 両年度とも 316,800円)	131 件	93 件	△ 38 件
	決算額(単位:円)	316,800	316,800	0
	【内容】 会員制リゾート施設「ザ グラン リゾート」(国内19施設)を会員価格で利用できる。 【増減理由】 余暇活動の多様化により利用が減少したものと推察する。			
コ	あっせん日帰りバスツアー (R5 1回目 会員@2,000×22人、家族@1,000×8人 関係者@0円×5人 合計参加者35人 2回目 会員@3,000×43人、家族@2,000×32人 関係者@0円×19人 合計参加者94人)	未実施	129 人	129 人
	決算額(単位:円)	0	245,000	245,000
	【内容】 あっせん日帰りバスツアーを募集し、参加会員は補助金を差し引いた価格で参加できる。後日、契約会社の請求に基づき、割引価格分の補助金を契約施設に支払う。 【増減理由】 コロナ禍のため令和4年度未実施。5年度は2回(11/12・3/3)実施した。			
サ	温泉&食事チケットの販売 (R4@3,600×仕入数707枚) (R5@3,800×仕入数358枚)	707 枚	358 枚	△ 349 枚
	決算額(単位:円)	2,545,200	1,360,400	△ 1,184,800
	【内容】 選べる宿泊施設で日帰り入浴と食事が楽しめるチケットの販売。 【増減理由】 コロナが5類に移行し、宿泊する利用者が拡大したことにより、日帰りの宿泊施設利用が減少したものと推察する。			
シ	プロ野球チケットの販売 (R4@5,800×仕入数170枚) (R5@6,300×仕入数10枚、@5,800×仕入数80枚)	170 枚	90 枚	△ 80 枚
	決算額(単位:円)	986,000	527,000	△ 459,000
	【内容】 東京ドームでのプロ野球「読売ジャイアンツ」観戦チケットの販売。 【増減理由】 応援チームの多様化が進んでいるため令和5年度は販売数を減らしたが、WBC優勝もあってプロ野球の人気が高まり、取扱いチケットは完売した。令和6年度は販売数を増やして実施する。			

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和4年度実績(C)	令和5年度実績(D)	増減理由(D-C)
ス	各種スポーツ観戦チケットの販売	171 枚	183 枚	12 枚
	決算額(単位:円)	1,265,930	1,061,390	△ 204,540
	【内容】大相撲、サッカーJリーグ等の各種スポーツ観戦チケットの販売。 【増減理由】新規に、ワールドカップバレーボールやバスケットボールプロリーグチケット等を取り扱い、販売数は増加した。なお、販売単価が安価であったため、決算額は減少した。			
セ	国立演芸場入場券の販売 (R4@1,760×販売実績数26枚) (R5@1,760×販売実績数21枚)	26 枚	21 枚	△ 5 枚
	決算額(単位:円)	45,760	36,960	△ 8,800
	【内容】国立演芸場入場券の販売。 【増減理由】国立演芸場の改修により10月から販売休止していたが令和6年1月から他会場で再開。利用できない期間があったため販売枚数が減少した。			
ソ	潮干狩り券の販売 (R4 大人@1,600×販売実績数524枚、小人@800×販売実績数173枚) (R5 大人@1,800×販売実績数425枚、小人@900×販売実績数137枚)	697 枚	562 枚	△ 135 枚
	決算額(単位:円)	976,800	888,300	△ 88,500
	【内容】千葉県木更津市の海岸で潮干狩りを楽しめる入場券の販売。 【増減理由】コロナ禍で家族で気軽に楽しめるレジャーとして人気が高かったが、コロナ5類移行後家族で参加できるレジャー活動が多様化したため、利用が減少したものと考えられる。			
タ	ジェフグルメカードの販売 (R4@2,910×仕入数3,000セット) (R5@2,928×仕入数3,000セット)	2,999 セット	3,543 セット	544 セット
	決算額(単位:円)	8,730,000	8,784,000	54,000
	【内容】全国の飲食店で利用できる食事券の販売。 【増減理由】会員の余暇活動が活発化し、近隣の飲食店でも利用できる当カードの人気が高まったものと考えられる。 【繰越数】 4年度繰越数 5年度購入数 5年度販売数 6年度繰越数 ジェフグルメカード 713セット 3,000セット 3,543セット 170セット			
チ	映画鑑賞パスポート券 (R4 TOHO@1,400×仕入数4,000枚 @1,500【価格改定後】×仕入数150枚 SMT@1,400×販売実績数388枚) (R5 TOHO@1,500×仕入数4,300枚 SMT@1,400×仕入数340枚)	4,538 枚	4,640 枚	102 枚
	決算額(単位:円)	6,368,200	6,926,000	557,800
	【内容】一般販売価格よりも低価格な映画鑑賞パスポート券の販売。 【増減理由】人気の高い映画作品の公開に伴い、利用が伸びたものと考えられる。			
ツ	足立の花火有料席 (R5@3,500×仕入数80枚、 チケット発行手数料28,160円)	開催中止	80 枚	80 枚
	決算額(単位:円)	0	308,160	308,160
	【内容】「足立の花火」有料席の販売。 【増減理由】令和4年度までコロナ禍のため開催中止。令和5年度は4年ぶりに大会が実施され、80席のところ359席の応募があり、抽選倍率4.5倍と非常に人気が高かった。			

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
テ	各種イベントチケットの販売	905 枚	931 枚	26 枚
	決算額(単位:円)	2,380,980	2,508,950	127,970
	【内容】水族館、夏休み子ども向けイベント等のチケットの販売。 【増減理由】木下大サーカス、ルミネtheよしもと、ムーミンバレーパーク、鉄道博物館といった取り扱いチケット品目を増やしたため、利用が増加した。 (令和4年度6イベント → 令和5年度9イベント)			
ト	観劇・コンサートチケットの販売	1,822 枚	1,793 枚	△ 29 枚
	決算額(単位:円)	15,630,780	16,371,252	740,472
	【内容】観劇・コンサートチケットの販売。 【増減理由】前年度と同定の規模でチケットを販売したが、宝塚等一部催行中止となったチケットがあったため微減。なお、チケット仕入れ価格の値上げにより決算額は増加した。			
ナ	ローチケbiz+サービスの提供 (R4 年会費 77,000円【R4.12~】) (R5 年会費 220,000円)	25 件	119 件	94 件
	決算額(単位:円)	77,000	220,000	143,000
	【内容】「ローチケbiz+」法人契約を締結。会員は、同ホームページでの各種チケットの購入時に、発行手数料を無料で利用できる(人気の公演の扱いが少なく、利用実績が伸びなかったため、令和5年度末で事業終了)。 【増減理由】令和4年度は12月からの実績、5年度は1年間の実績のため件数増となった。			
ニ	夏休み親子ものづくり体験 (R4 開催費一式 379,500円) (R5 開催費一式 342,650円)	104 人	45 人	△ 59 人
	決算額(単位:円)	379,500	342,650	△ 36,850
	【内容】夏休みに親子でものづくり体験ができる製作キットの販売及び製作方法説明動画の提供。 【増減理由】足立区施策の夏休み子どもものづくり体験が低価格でメニューも豊富であったことが、当センター事業の利用減少につながったものと推察される。			
ヌ	ディズニーホテルバンケットランチプラン	96 人	90 人	△ 6 人
	決算額(単位:円)	953,700	1,390,588	436,888
	【内容】東京ディズニーリゾート内ホテルで、キャラクターとのグリーティングと食事を楽しむイベントを実施。 【増減理由】参加人数は前年度と同程度で実施。出演キャラクター増と参加者へのお土産を追加し決算額は増加した。			

6 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

(6) 財産形成支援事業

決算額 (単位: 円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由(B-A)
			0	0
主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	財形貯蓄 (一般・住宅・年金)	45 人	42 人	△ 3 人
	決算額 (単位:円)	0	0	0
	【内容】 財形貯蓄のための代行事務 (事業所から集金び金融機関への送金)。 【増減理由】 平成29年度より新規募集は停止。積立期間満了に伴い利用者数は減少している。			

(7) 生活産業広報紙発行事業

決算額 (単位: 円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由(B-A)
			69,627,340	86,838,074
主な内容		令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	「公社ニューストキメキ」の発行 (R4 編集委託費 20,565,600円、印刷製本費 16,585,668円 配布委託費 32,476,072円) (R5 編集委託費 20,829,600円、印刷製本費 23,697,672円 配布委託費 42,310,802円)	4,188,300 部	4,237,200 部	48,900 部
	決算額 (単位:円)	69,627,340	86,838,074	17,210,734
	【内容】 「公社ニュース トキメキ」の発行 (編集・広告営業、印刷、配布委託料の支出)。 【増減理由】 区内人口増加に伴う配布数の増加により、発行部数が増加した。また物価高騰により印刷単価及び配布単価も増加したため、経費は増加した。			

(8) 加入促進事業

決算額 (単位: 円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由 (B-A)
		215,300	307,360	92,060
主な内容		令和4年度 実績 (C)	令和5年度 実績 (D)	増減理由 (D-C)
ア	「公社ニュース トキメキ」での募集記事掲載	12 回	12 回	0 回
	決算額 (単位: 円)	0	0	0
	【内容】 「公社ニュース トキメキ」に募集記事を掲載。 【増減理由】 前年度と同様、毎月掲載した。このほか、ホームページ、SNS等でも、定期的にお得情報や入会メリットの情報発信に努めた。なお、4年ぶりに実施された「足立の花火」プログラムに広告を掲載したため、決算額は増加した。			

(9) その他の事業

決算額 (単位: 円)		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減理由 (B-A)
		16,363,392	14,398,112	△ 1,965,280
主な内容		令和4年度 実績 (C)	令和5年度 実績 (D)	増減理由 (D-C)
ア	給付事業	1,487 件	1,351 件	△ 136 件
	決算額 (単位: 円)	16,363,392	14,398,112	△ 1,965,280
	【内容】 祝金 (結婚、出産、入学、還暦等)、弔慰金等の給付。 【増減理由】 出産祝金 (+29件) は増加したが、それ以上に死亡弔慰金 (△38件)、小・中学校入学祝金 (△93件) の給付実績が減少したため。 (参考) 給付額 出産祝金 20,000円 死亡弔慰金 会員50,000円、配偶者等20,000円、親・子10,000円 小・中学校入学祝金 各10,000円			

7 収支決算

7 収支決算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益				基本財産の運用益
基本財産受取利息 <1>	1,162,827	1,774,015	611,188	利息収入 1,774,015円 [地方債運用収入増 611,188円]
基本財産運用益計 <2>	1,162,827	1,774,015	611,188	
特定資産運用益				特定資産の運用益
特定資産運用益 <3>	152,020	151,220	△ 800	利息収入 151,220円 [定期利息減 △800円]
特定資産運用益計 <4>	152,020	151,220	△ 800	
受取入会金会費				会員の入会金及び会費収入
受取入会金会費 <5>	64,014,000	62,151,100	△ 1,862,900	
受取入会金 <6>	129,000	98,600	△ 30,400	入会金収入 98,600円 (@200円×493人) [入会金無料・会費無料キャンペーン 実施に伴う減 △30,400円]
受取会費 <7>	63,885,000	62,052,500	△ 1,832,500	会費収入 62,052,500円 (年間6,000円×10,342人分) [入会金無料・会費無料キャンペーン 実施に伴う減 △1,832,500円]
受取入会金会費計 <8>	64,014,000	62,151,100	△ 1,862,900	
事業収益				
生活安定事業収益 <9>	34,703,100	30,878,038	△ 3,825,062	カード・産地直送品等販売収益 区内商品券等販売収入 23,768,020円 [売上数の減 △1,533,880円] 産地直送販売収入 7,110,018円 [売上数の減 △2,291,182円]
健康維持増進事業収益 <10>	7,166,460	8,160,000	993,540	健康診断受診料、回数券等販売代金の収益 日曜健康診断受診料 681,700円 [実施再開による増 681,700円] 公衆浴場回数券等販売収入 7,478,300円 [売上数の増 312,500円] おうちでドック事務手数料 0円 [利用数減 △660円]
老後生活安定事業収益 <11>	28,000	0	△ 28,000	セミナー参加費の収益 ライブセミナー参加費 0円 [実施中止による減 △28,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
自己啓発事業収益 <12>	6,024,400	7,495,800	1,471,400	チケット販売代金、研修参加費の収益 図書カード・美術展等チケット等の 販売収入 7,467,800円 [売上数の増 1,515,400円] 若手社員研修参加費 28,000円 [参加者数の減 △44,000円]
余暇活動事業収益 <13>	46,051,700	48,574,300	2,522,600	チケット販売代金、参加費の収益 東武動物公園等レジャー施設チケット 販売収入 12,660,000円 [売上数の増 779,900円] プロ野球チケット販売収入 450,000円 [販売数の減 △400,000円] 各種スポーツ観戦チケット販売収入 952,400円 [販売単価の減 △121,100円] 国立演芸場入場券販売収入 36,400円 [販売数の減 △4,200円] 潮干狩り券販売収入 592,200円 [売上数の減 △18,300円] ジェフグルメカード販売収入 9,566,100円 [売上数の増 1,468,800円] 映画鑑賞券販売収入 5,998,000円 [売上数の増 591,200円] 「足立の花火」有料席販売収入 240,000円 [大会再開による増 240,000円] 温泉&食事チケット販売収入 1,074,000円 [売上数の減 △1,047,000円] 各種イベントチケット販売収入 2,210,700円 [売上数の増 189,000円] 観劇コンサートチケット販売収入 13,977,500円 [売上数の増 834,300円] 親子ものづくり体験参加費 67,500円 [参加者数の減 △90,500円] ディズニーホテル パンケットランチ プラン参加費 749,500円 [参加費の増 100,500円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
生活産業広報紙発行 事業収益 <14>	77,098,780	92,796,968	15,698,188	生活産業広報紙発行収益 トキメキ記事掲載料 52,931,340円 [記事掲載料単価増 11,805,156円] トキメキ広告料 39,865,628円 [広告掲載数の増 3,893,032円]
事業収益計 <15>	171,072,440	187,905,106	16,832,666	
受取補助金 受取区補助金 <16>	37,945,178	37,117,366	△ 827,812	人件費、管理運営費に対する区補助金 人件費(職員13人)補助金 8,852,743円 [福利厚生費の増 409,203円] 管理費補助金 12,976,927円 [通信運搬費等の減 △774,452円] 事業費補助金 15,287,696円 [ホームページ改修費の減 △462,563円]
受取補助金計 <17>	37,945,178	37,117,366	△ 827,812	
雑収益 雑収益 <18>	23,602	23,682	80	雑収益 流動資産利息収入等 23,682円 [雑収益の増 80円]
広告・手数料収益 <19>	1,174,165	1,761,098	586,933	会報誌Fromゆう・利用ガイド 広告料等 1,761,098円 [広告手数料収入の増 586,933円]
雑収益計 <20>	1,197,767	1,784,780	587,013	
経常収益計 <21>	275,544,232	290,883,587	15,339,355	

(2) 経常費用

公益目的事業会計

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
棚卸資産 <22>	△ 4,089,310	3,732,102	7,821,412	
期首棚卸資産 <23>	6,285,030	10,374,340	4,089,310	
期末棚卸資産 <24>	△ 10,374,340	△ 6,642,238	3,732,102	
事業費 <25>	237,949,486	247,843,712	9,894,226	
事業人件費 <26>	3,264,064	3,706,017	441,953	事業課職員(8人)の人件費
福利厚生費 <27>	3,264,064	3,706,017	441,953	共済組合負担金等 3,706,017円 [給与支給総額の増 441,953円]
事業運営費 <28>	25,549,576	28,137,715	2,588,139	事業にかかる管理運営費
旅費交通費 <29>	0	23,374	23,374	近接地外出張旅費 23,374円 [出張に伴う増 23,374円]
通信運搬費 <30>	9,476	9,430	△ 46	携帯電話使用料 9,430円 [通話料の減 △46]
消耗品費 <31>	442,816	577,759	134,943	事業用消耗品 577,759円 [コピー等消耗品の増 134,943円]
印刷製本費 <32>	6,470,556	8,429,858	1,959,302	利用ガイド・入会案内・ 会報誌印刷等 8,429,858円 [利用ガイド印刷費の増 1,959,302円]
賃借料 <33>	2,143,311	2,277,564	134,253	パソコン・福祉共済システム 機器のリース料 2,277,564円 [輪転機賃借料の増 134,253円]
支払手数料 <34>	882,660	864,853	△ 17,807	会費振替振込手数料等 864,853円 [振替振込件数の減 △17,807円]
委託費 <35>	13,890,223	14,239,993	349,770	会報誌配送委託、窓口業務 委託費等 14,239,993円 [福祉共済システム改修の増等 349,770円]
租税公課 <36>	1,710,534	1,714,884	4,350	消費税・地方消費税 1,714,884円 [課税額の増 4,350円]
生活安定事業費 <37>	44,712,444	31,148,122	△ 13,564,322	生活安定事業にかかる経費
主催事業費 <38>	44,678,800	31,126,440	△ 13,552,360	区内商品券等仕入経費 23,035,310円 [売上数の減 △10,320,230円] 産地直送仕入経費 8,091,130円 [売上数の減 △3,232,130円]
信用保証料 <39>	33,644	21,682	△ 11,962	生活資金融資あっせん信用保証料 21,682円 [融資金額の減 △11,962円]
健康維持増進事業費 <40>	21,831,110	22,255,932	424,822	健康維持増進事業にかかる経費
印刷製本費 <41>	42,900	0	△ 42,900	健診利用承認書の印刷経費 0円 [隔年印刷による減 △42,900円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
負担金 <42>	1,942,600	2,046,000	103,400	スポーツクラブ 法人会員年会費 2,046,000円 [年会費の増 103,400円]
利用補助費 <43>	12,857,600	11,801,700	△ 1,055,900	健康診断、人間ドックの利用補助 9,255,000円 [利用実績の減 △1,194,000円] 健康ランドの利用補助 2,546,700円 [利用実績の増 143,100円] おうちでドック利用補助 0円 [利用実績なし △5,000円]
主催事業費 <44>	6,988,010	8,408,232	1,420,222	日曜健康診断経費 1,004,432円 [実施再開による増 1,004,432円] 公衆浴場回数券等仕入経費 7,403,800円 [販売数の増 415,790円]
老後生活安定事業費 <45>	178,200	13,000	△ 165,200	老後生活安定事業にかかる経費
主催事業費 <46>	178,200	13,000	△ 165,200	ライブランシナー実施経費 0円 [開催中止による減 △165,200円] 講師養成講座受講 13,000円
自己啓発事業費 <47>	7,742,440	9,563,440	1,821,000	自己啓発事業にかかる経費
利用補助費 <48>	362,500	300,750	△ 61,750	文化教養講座、資格取得等補助 300,750円 [利用実績の減 △61,750円]
主催事業費 <49>	7,379,940	9,262,690	1,882,750	鑑賞教室・美術展等仕入経費 3,255,490円 [販売数の増 1,902,550円] 図書カード仕入経費 5,862,000円 [増減なし] 若手社員研修経費 145,200円 [参加者の減 △19,800円]
余暇活動事業費 <50>	64,829,012	65,865,852	1,036,840	余暇活動事業にかかる経費
負担金 <51>	5,444,100	6,103,800	659,700	法人会員年会費 6,103,800円 [販売数増による増 659,700円]
委託費 <52>	316,800	316,800	0	グランリゾート施設管理委託費 316,800円 [増減なし]
利用補助費 <53>	10,135,100	9,758,400	△ 376,700	指定レジャー施設利用補助 730,500円 [利用数の減 △126,400円] 東京デイズ・リゾート利用補助 2,892,000円 [利用数の増 353,000円] 食事チケット 580,900円 [利用数の減 △514,300円] 宿泊施設利用補助 5,310,000円 [利用数の減 △168,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
主催事業費 <54>	48,152,850	48,906,690	753,840	あっせん日帰りバスツアー補助 245,000円 [事業再開による増 245,000円] 日帰りツアー利用補助 0円 [事業終了による減 △166,000円] 東武動物公園チケット仕入経費 8,401,040円 [仕入単価の増 511,040円] プロ野球チケット仕入経費 527,000円 [販売数の減 △459,000円] 各種スポーツ観戦チケット仕入経費 1,061,390円 [販売単価の減 △204,540円] 国立演芸場入場券仕入経費 36,960円 [販売数の増減 △8,800円] 潮干狩り券仕入経費 888,300円 [売上数の減 △88,500円] ジェフグルメカード仕入経費 8,784,000円 [売上数の増 54,000円] 映画鑑賞券仕入経費 6,926,000円 [販売数の増 557,800円] 「足立の花火」有料席仕入経費 308,160円 [大会再開による増 308,160円] 温泉&食事チケット仕入経費 1,360,400円 [売上数の減 △1,184,800円] 各種イベントチケット仕入経費 2,508,950円 [販売数の増 127,970円] 観劇コンサートチケット仕入経費 16,371,252円 [販売数の増 740,472円] 親子ものづくり体験実施経費 342,650円 [参加者の減 △36,850] デイズニートicketランプラン経費 1,390,588円 [実施経費の増 436,888円]
減価償却費 <55>	780,162	780,162	0	ザ グランリゾート エレガンテ 伊豆・建物共有持分の減価償却
財産形成事業費 <56>	0	0	0	
印刷製本費 <57>	0	0	0	
生活産業広報紙発行 事業費 <58>	69,627,340	86,838,074	17,210,734	公社ニュース「トキメキ」発行経費
委託費 <59>	69,627,340	86,838,074	17,210,734	編集・広告営業委託費 20,829,600円 [委託費の増 264,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
加入促進事業費 <60>	215,300	307,360	92,060	印刷委託費 23,697,672円 [印刷単価・部数の増 7,112,004円] 配布委託費 42,310,802円 [配布単価・世帯数増 9,834,730円] 加入促進に係る事業費
加入促進事業費 <61>	215,300	307,360	92,060	広告掲載・チラシ印刷等経費 307,360円 [足立の花火広告掲載費の増等 92,060円]
雑費 <62>	0	8,200	8,200	雑費
雑費 <63>	0	8,200	8,200	チケット未収金損失処理等
公益・事業費計 <64>	233,860,176	251,575,814	17,715,638	

(2) 経常費用

収益事業等会計

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
事業費				
事業人件費 <65>	171,793	195,054	23,261	事業課職員(8人)の人件費(※)
給料手当 <66>	0	0	0	臨時職員の賃金・手当(※)
福利厚生費 <67>	171,793	195,054	23,261	給付事業に係る職員の共済組合 事業主負担金配賦分(※)
事業運営費 <68>	1,247,184	1,381,073	133,889	事業に係る管理運営費(※)
通信運搬費 <69>	499	496	△ 3	給付事業に係る携帯電話利用料配賦分(※)
消耗品費 <70>	23,306	30,408	7,102	給付事業に係る事業用消耗品配賦分(※)
印刷製本費 <71>	340,556	443,677	103,121	給付事業に係る印刷経費配賦分(※)
賃借料 <72>	112,806	119,872	7,066	給付事業に係るパソコン等賃借料配賦分(※)
支払手数料 <73>	38,953	37,147	△ 1,806	給付事業に係る会費振替振込手数料配賦分(※)
委託費 <74>	731,064	749,473	18,409	給付事業に係る窓口業務委託費等配賦分(※)
生活安定事業費 <75>	16,363,392	14,398,112	△ 1,965,280	
給付金 <76>	16,363,392	14,398,112	△ 1,965,280	会員等への給付金 14,398,112円 給付実績の減 △1,965,280円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> (※)「収益事業等会計」における「事業人件費」及び「事業運営費」の金額は、「事業人件費」及び「事業運営費」経費全体の5%を按分して計上しているものであり、「主な増減理由」は公益目的事業会計のそれと同一であるため記載を省略した。 </div>				
収益・事業費計 <77>	17,782,369	15,974,239	△ 1,808,130	

7 収支決算

(2) 経常費用

法人会計

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
管理費				
人件費 <78>	5,007,683	4,951,672	△ 56,011	総務課職員(5人)の人件費
福利厚生費 <79>	5,007,683	4,951,672	△ 56,011	総務課職員の共済組合負担金等 4,951,672円 [給与支給総額の減 △56,011円]
管理運営費 <80>	13,751,379	12,976,927	△ 774,452	組織運営に係る管理運営費
会議費 <81>	3,265	7,296	4,031	理事会・評議員会等茶代 7,296円 [購入数の増 4,031円]
会議交通費 <82>	282,000	237,000	△ 45,000	役員・評議員の費用弁償 237,000円 [理事会等開催回数減 △45,000円]
旅費交通費 <83>	83,780	136,922	53,142	職員出張旅費 136,922円 [出張回数の増 53,142円]
通信運搬費 <84>	3,336,519	2,444,170	△ 892,349	電話料金、郵送費等 2,444,170円 [郵送費の減 △892,349円]
消耗品費 <85>	767,726	779,431	11,705	コピー機・FAX・事務用消耗品 779,431円 [コピー等消耗品の増 11,705円]
賃借料 <86>	3,104,118	3,001,772	△ 102,346	オフィス家具・事務機器等賃借料 3,001,772円 [輪転機賃借料の減 △102,346円]
保険料 <87>	218,846	218,846	0	動産総合保険、労災保険等 218,846円 [増減なし]
租税公課 <88>	152,550	180,200	27,650	収入印紙経費 180,200円 [契約用収入印紙の増 27,650円]
負担金 <89>	242,000	242,000	0	全福センター年会費等 242,000円 [増減なし]
委託費 <90>	2,676,495	3,192,842	516,347	財務会計事務、清掃委託等 3,192,842円 [インボイス対応改修経費増 516,347円]
支払手数料 <91>	1,666,778	1,524,958	△ 141,820	法務登記・口座振替手数料等 1,524,958円 [理事等変更登記経費の減 △141,820円]
交際費 <92>	15,038	17,480	2,442	弔慰金等 17,480円 [理事逝去に伴う交際費 2,442円]
研修費 <93>	66,000	23,500	△ 42,500	職員研修費 23,500円 [受講研修回数の減 △42,500円]
光熱水費 <94>	1,136,264	970,510	△ 165,754	事務所の電気・水道料金 970,510円 [産業センター光熱水費の減 △165,754円]
管理費計 <95>	18,759,062	17,928,599	△ 830,463	

I 一般正味財産増減の部

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

(2) 経常外費用

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
(1)経常外収益				
経常外収益計 <96>	0	1,405,400	1,405,400	生活産業広報誌発行事業 印刷委託契約 解除に伴う違約金収入 1,405,400円
(2)経常外費用				
経常外費用計 <97>	0	0	0	
当期経常外増減額 <98>	0	1,405,400	1,405,400	

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
経常収益計 <99>	275,544,232	290,883,587	15,339,355	
経常費用計 <100>	270,401,607	285,478,652	15,077,045	
経常外収益計 <101>	0	1,405,400	1,405,400	
経常外費用計 <102>	0	0	0	
当期一般正味財産増減額 <103>	5,142,625	6,810,335	1,667,710	
一般正味財産期首残高 <104>	240,343,027	245,485,652	5,142,625	
一般正味財産期末残高 <105>	245,485,652	252,295,987	6,810,335	

II 指定正味財産増減の部

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
当期指定正味財産増減額 <106>	0	0	0	
指定正味財産期首残高 <107>	500,000,000	500,000,000	0	
指定正味財産期末残高 <108>	500,000,000	500,000,000	0	

III 正味財産期末残高

単位：円

科 目	令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
正味財産期末残高 <109>	745,485,652	752,295,987	6,810,335	